

## 聴覚障害理解のための教材開発とそれを活用した授業

京都市立九条弘道小学校

大崎 美保

### 1. はじめに

聞こえにくさを考える時、難聴学級の子ども達と交流学級の子ども達との認識の違いはどのあたりにあるのでしょうか。それぞれの立場によってとらえ方や感じ方が違うのは当然ですが、相手の立場に立って考えることにより『自分とは違うきこえ方』を理解し、その人をも理解できるのではないのでしょうか。

難聴学級の子ども達は聞こえにくいことで様々な不便はありますが、聴覚や補聴器、視覚、口話読み取り等の方法を駆使して、たくましく自分流に生活しています。

交流学級の子ども達は難聴学級の友達とのふれあいの中で、自然に『きこえ』について知り、あるいは目覚め、きこえだけではない「人と人とのつながり」を一緒に築きあげています。

難聴学級の担任として、正しい聴覚障害理解を推進していくことは、子ども達の本来もつ力を伸ばすとともに、豊かな人間性を育てていくことにつながると考えます。それは単に「きこえない、きこえにくい」立場と「きこえる」立場をつなぐだけではなく、誰もが自分を生かせるバリアフリ - の社会を広げていくことにもなります。

### 2. 小学校における聴覚障害理解のための条件として

子ども達にわかりやすい内容であること

難聴学級の子ども達の二 - ズに合った内容であること

周囲の大人にも周知できる内容であること

学習後、実際の生活に反映できるものであること

この教材の学習により、難聴学級の子ども達を取り巻く音環境がより快適になり得るのであること

があげられます。今回は身近な音いろいろを媒体として教材を作成し実施したものです。

### 3. 聴覚障害理解のための手立て

担任した学年は4年生2名です。聴力タイプも就学以前の教育形態も異なる2人ですが、「自分達のきこえを友達や先生にもっと知ってほしい」という思いは強くもっていました。交流学級の友達に「朝の会に来てもらおうと難聴学級の私達のことがもっとよくわかってもらえる」「いつも相手からのアプローチを待っているのではなく、自分達のことは自分達から働きかけなきゃ」と積極的に理解推進に取り組みました。

授業自体は教師主導という形をとりましたが、その中には子ども達の気持ちやアイディアを組み込みながら内容を決めた部分もあります。自分達のきこえの理解、認識から始まり、1組の交流学級の友達39人をも巻き込んだ《2組で朝の会》及び学級通信の配布、校内お話会での発表会、京都市美術展（育成学級、難聴学級、養護学校）合同作品展での作品によるアピ - ル、手話スピ - チ大会参加での意見アピ - ル等、いろいろな方法で理解推進を進めていきました。ここではそのうちの《2組で朝の会》と《音ビデオ『音いっばいだけきこえにくいんだよ』》についてまとめました。

7月10日 《2組で朝の会》

難聴学級では、学年の教科と、よりわかりやすく人に伝えるための発音学習や、今よりもっと友達と仲良くなれるためのコミュニケーション手段等の学習などを、『自立活動』の時間に学習をしています。

難聴学級での2人の愉快的やりとりや、お茶目な様子や、超マジメ(?)なところ・・・などなど、1組の皆が知らない面がいっぱいあります。

難聴学級の教室のつくりや聞こえにくさを、正しく皆に伝えたい気持ちも含めて、毎日の朝の会を2組でやってみたいということになりました。

『自立活動』の授業で、目的や内容や進め方、そして2人の役割分担、1組の友達への説明などを、みっちり話し合い、7月6日からいよいよスタートしました。

司会は難聴学級の2人です。息がピッタリだったりすれ違ったりと、なかなかユニークな司会ぶりを発揮してくれています。1組では **なぜか** おとなしいのですが、2組では張り切って **仕切って** います。

先生は、その2人の張り切っている姿がとっても好きです。

では、2組の朝の会について、少し紹介をしておきます。

なぜ2組で朝の会をしようと思ったのか。

- ・ 自分達の2組の教室でやってみたかった。
- ・ 音が静かで、皆が話していることがよく聞き取れるから。
- ・ 私達が1組のお友達に「いってらっしゃい」と言いたかったから。  
(先生はこの理由を聞いてナルホドと思ったとともに胸にグッときました。)

皆に、2組の朝の会でどんなことを伝えたいのか。

- ・ 難聴学級のことをもっと知ってほしい。 教室の様子  
聞こえにくさについて
- ・ 私達のことをもっと知ってほしい。 明るいところ  
よくしゃべるところ  
おもしろい性格
- ・ 楽しい会を一緒にしたい。 1分間スピーチ  
難聴学級クイズ

そして、1番の願いは、『もっと知り合って、もっと仲良しになりたいよ』です。

7月13日 《朝の会1週間》

2組の朝の会に1組の友達が来るようになって1週間がたちました。Rちゃんは9月にはアメリカに戻ってしまうのと、短い期間ということもあり、毎日参加してもらっています。一緒にいる時間が増えると、仲良しになれるのもはやいということもわかりました。(素敵なことですね)

アメリカにもきこえにくいお友達がいるんだよね。9月になったら九条弘道の仲間と同じようにしゃべってみてほしいなど、先生はチラッと思いました。

今日は朝の会での皆の感想などを紹介します。朝の会が終わったら、1組の友達に今まで知らなかった2人のことを書いてもらいました。

**≡ 二感想力 - ド (私, ぼくのことので新発見したことを書いてください。)**

7/6 『2人の明るさが司会の時に皆に伝わったようですね。』

- ・Nちゃんは、とってもやんちゃでした。今までに見たことないNちゃんでもよかったです。
- ・Nさんとはよく話しているけど、それよりもっとしゃべるとは思いませんでした。
- ・(司会の時)大きな声でした。
- ・朝の会のDちゃんは、とてもおもしろくて、いつもと少し違う雰囲気でした。「Dちゃんはおもしろかった - 」
- ・Dちゃんはおもしろい(愉快)ということがわかりました。
- ・1組の教室ではおとなしいけど、言うのがすごかった(はきはき)です。

7/7 『2人とも友達の前での司会は生き生きしています。』

- ・Nちゃんは、1分間スピ-チで、モコという犬と仲良しということがわかりました。
- ・Dちゃんはバスが来なくて、ちょっと遅れたので、今日はわかりません。
- ・Nちゃんがおもしろいことを言うのがわかった。
- ・Dちゃんはやさしいところがある。
- ・Nちゃんの1分間スピ-チのときよくわかりました。
- ・Dちゃんはバスで来ていて、今日のちこくは自分が悪くないと思った。

少し文章を変えてあるところがあります。理由は感想の意味がきちんと正しく伝えられるようにということです。意味そのものは変えないようにしました。

それにしても、皆、なかなか鋭い!!! 2人は2組ではすっごく元気で楽しいのですよ。でも、皆のことも2人はちゃんと見ていて、いいところをいっぱい見つけていますよ。先生は、お互いにとって素敵なことだなと思っています。

7/9 『心がお互いに「聞きたい」「知りたい」と思っているのです。』

- ・Nちゃんの発音は、とってもわかりやすかったよ。
- ・しっかり口をあけて話せていたよ。
- ・Nちゃん、めがねつけてよかったね。ピンクのめがねでかわいい博士になったね。
- ・だいぶ頑張って発音しているんだね。ぼくもDちゃんの話したいことがわかるようになった。
- ・Nちゃんは、メガネをつけてよく見えるようになってよかったね。
- ・Dちゃんはがんばって話してくれて、とてもうれしかった。

自分の言いたいことや思ったことを伝えるのは、自分が考えるよりも、うんとむずかしいかも知れません。

難聴学級の友達は、自分の発音、友達の表情を見て正しく伝わっているかを考えながら話しています。

1組の友達は、2人の口元や表情を見ながら、一生懸命聴き取ろうとしています。相手を大切に思って、しっかり聞こうという気持ちが、きっと一番大切なのでしょうね。  
皆の目が輝いています・・・。

さて、第1問目のクイズの答えは？

『電池チェッカ - は何に使うのでしょうか？』

- ? 補聴器の電力(?)を調べるため。
- ? 補聴器がまだ使えるか使えないかを調べるため。
- ? 電池の燃料を調べるため。

乾電池の残量を調べるための正解です。単1, 単2, 単3も調べられるよ。

補聴器は、中にボタン式の電池を入れて使います。電池がなくなったら補聴器が聞こえなくなるので、いつも電池の有無のチェックをします。

7/10 『皆がなじんでいて自然な雰囲気朝の会です。』

- ・楽しかった。(この一言が短いけれど1番聞きたい言葉かもしれないよ・・・。)
- ・2人の聞こえ方で、聞きにくいというのがあるのですか？(はい、一人一人聞こえ方は違うのです。聞きやすい音、聞きにくい音があり、左右でも違うのですよ・・・)
- ・Nちゃんは、めがねをかけるとは知りませんでした。今度かけてくださいネ!
- ・いつもの朝の会より楽しかった。
- ・ちょっとしゃべるのがはやかった。けど、発音をがんばっていました。
- ・Nさんは、いきいきとして、とても元気だった。

友達ががんばりに気づいて、それを認められるのはとっても素敵ですね。耳の聞こえと発音って、とっても深い関係があります。舌の動かし方や息の強弱も発音に大きく関わってきます。2人は自分で意識しながら話しています。

いつもの朝の会より～たまに参加するから楽しいのかもよ。いつもの朝の会でも楽しさを見つけてね。

7/11 『この日は爆笑の日でした・・・。』

- ・発音がわかりやすかった。
- ・早口の時は、あまりわからなかった。(反対もそうだね。早口だと2組の友達は読み取れないことがあるヨ)
- ・Nさんはけっこうそそっかしかった。でも、絵や観察がうまいこともわかった。
- ・Dちゃんは1分間スピーチの時、サッカー - のミニゲームの話があり、とても楽しかった。
- ・最後に、先生がNさんに「大ボケね」と言うと、Nさんが先生に「おでぶね」と言ったのがおもしろかった。
- ・Dちゃんの1分間スピーチで、Dちゃんがぎゃく点ゴ - ルしたと聞いてびっくりした。

見た目は(ごめんネ、Nちゃん・・・)とおもしろいけど、本当はお茶目で活発なんだよ。先生は、そんなNちゃんと話したり、時には冗談を言い合ったりするの

が楽しくて仕方がないんです！

Dちゃんは、しゃべり出したらとまらない。特に、サッカー - についてはとっても詳しくて、Jリ - グのこともよく知っています。先生はサッカー - のことはあまり知らないの  
で、いつもDちゃん先生に教えてもらっているんです。

### 7/19 『1学期の最後の2組での朝の会』

- ・1組では、あんまりしゃべったりしないのに、2組ではすごく元気でした。
- ・今日のDちゃんは、すごくおもしろかったです。特に、1分間スピー - チは、なんかいっぱいおもしろいことをしていました。楽しかった。
- ・Nちゃんは、とてもよくしゃべって元気なことがわかりました。1分間スピー - チもとてもじょうずでした。
- ・Dちゃんは、とてもおもしろいし、発音もよくわかりました。難聴学級のクイズもとても楽しかったです。
- ・Nちゃんの1分間スピー - チがよかった。毎日2組に行きたいです。
- ・Dちゃんは渋滞でバスが遅れたため、最後の朝の会是一緒にできなくて残念でした。

7月の2組での朝の会は『おしまい』です。1組と2組とお互いに友達のいろいろな面が見つけられ、そのことで“心の距離”もより近くなったと感じました。皆さん、どうもありがとうございました。そして、D君とNさん、司会やクイズの準備などががんばりましたね。また、2学期を楽しみに・・・。

## 1 学 期 を 終 え て (担任の感想)

4年生の1学期は、何だか風のように過ぎ去った感じがしています。学習も生活も「えっ、もう終わり？」と思っていたのは担任の私だけではなかったかも知れません。『2組で朝の会』は、いろいろな準備を経て、7月6日にスタートしました。「2人は緊張しないで司会をしてくれるかな。」「1組の友達に自分の思いを伝えられるかな。」という担任の不安は、どうやら嬉しい誤算(考えすぎ)だったようで、スム - ズに伸び伸びと朝の会を進めていってくれました。『子どもの力を信じること!』でした。

そして、嬉しかったのは1組の友達が、毎日2組の教室にそろっていて、2人のいろいろな面を見つけてくれたことです。もちろん2組の2人も・・・。私も1組、2組、両方の子ども達のまだ知らなかった面に触れ、ますます4年生の皆が好きになっていきました。

プラス面ばかりではありません。時間が長びいて、途中で切り上げなければならなかったりしたこともあり、これからの課題もまだあります。2学期もまた工夫をこらして交流を深めていきたいと思っています。

### クイズの答

2 問目 『難聴学級の壁のボ - ドの穴は何のためでしょう?』

〔答〕教室の中で声や音が響いたり(反響したり)しないように、それらを吸収しやすいために穴があいています。

3 問目 『難聴学級にエアコンがあるのはどうして?』

〔答〕外の大きな音が入るので窓が開けられません。特に、トラックやセミの声、雨音、風の音などはうるさくて、勉強中の大切な先生の声が聞き取れないこともあるほどです。

さて、1学期から《2組で朝の会》を実施してきましたが、そこでの交流をさらに発展させ、「きこえにくさ」についての理解を深めるために、難聴学級理解推進『音いっぱいだけ聞こえにくいんだよ』という音ビデオを作成しました。

私達の身の回りには様々な音がありますが、難聴学級の友達にはどんなふうに聞こえているのでしょうか。また、自分達それぞれの聴覚や補聴器等を活用しながらどんなふうに音を聴きとっているのでしょうか。この教材がすべてでは決してありませんが、少しでも友達のきこえを正しく知り、友達のがんばりや思いに気づくことによって「きこえにくさ」の理解が進んでいくように考えました。

### 音ビデオ『音いっぱいだけ聞こえにくいんだよ』

内容	(学校の中の音) 人の声(運動場で遊ぶ様子) チャイム(休み時間の終了合図) 廊下を歩く足音 教室の戸の開閉音 水道の水の流れる音 ~説明~ 給食時のクラス音 ~説明~ (学校の外の音) 車が走る音(東寺道) ~説明~ 宣伝カ - の音声 トラックの警笛(後方からの音) ~説明~ (家庭の中の音) 米をとぐ音 野菜を切る音(玉ねぎ) 野菜を炒める音(玉ねぎ) ハンバ - グを焼く音 オ - プンレンジの電子音 炊飯器の合図音 テレビの天気予報 インタ - ホンの音 電話のベルと留守番電話の声
----	---

ビデオ視聴時は、初めは音のみで画面は隠しておき、皆に何の音であるのか考えてもらいます。何秒か聞いてから音場面も出し、何の音であったのかを確認します。

この理解推進授業は主として難聴学級担任が行います。普通学級の子も達と担任はもちろん、難聴学級の子も達も一緒に学習します。ただし、難聴学級の子も達は事前に授業の目当て及び内容について学習しておきます。自分達主体の授業ともいえるわけです。

本校には難聴学級が4学級(1, 2, 4, 5年)あります。しかし、3年生と6年生には難聴学級に在籍がないため、日常的な交流はなかなか難しいので、いろいろな行事や隣接学年としての交流を心がけています。今回の理解推進授業は同じ中学年である3年生と4年生でそれぞれ授業を行いました。授業後の感想を載せた学級通信を紹介しておきます。

## 12月15日 3年1組の友達と一緒に勉強したよ！ (抜粋)

毎日、私達のまわりには、いろいろな音があふれています。好きな音を聞いたり、聞きたくないと思えば、ある程度はカットしたりと、人間の耳は不思議にできています。でも、一人ずつ個性があるように、本校には耳が聞こえにくい友達があります。『難聴学級の友達は音をどんなふうに聞いているのかな』と知ること、友達のことがよくわかり、今よりもっと仲良くなれるのではないのでしょうか。

3年生には難聴学級がないので、ふだんの交流で一緒に勉強することは少ないけれど、スポ・ツ教室や運動会や行事などで一緒に活動することもあります。耳のこと(聞こえについて)は、案外知っているようで知らないこともいっぱいあります。難聴学級の友達も、先生たちも、耳のこと(聞こえ)について、皆にもっともっと知ってほしいし、聞こえるからとか、聞こえにくいとかじゃなく、同じ学校の仲間として人間関係を深めていけたらいいなと思っています。

### 3年生の感想文

「えっ、この音も聞こえなかったの!? だから補聴器をつけてはるんや!」

「目と目を合わせて話したらいいんや。」

「補聴器は音を大きくするけど、それだけじゃなくて口も顔も見て伝え合うんだ!」

授業で先生が説明する前に3年生のみんなからいっぱい『つぶやき』が聞こえてきました。授業のあとの感想を何人が紹介(しょうかい)します。(少し変えた文もあります)

今日なんちょう学級の人の話を聞いて、ほちょうきはなんちょう学級のともだちには、ぜったいひつようなものだとわかりました。

なんちょう学級の人にはふつうの人のばいこうしていることがわかりました。これから、なんちょう学級の人の顔を見て話します。

いっしょに遊んだり、とちゅうまで帰ったりするともっと仲よくなれるとおもう。

ほちょうきは、なんちょう学級の友だちにとって、すごく大事だとよくわかった。でも、ともだちのほうが大それたこととてとてびっくりしました。

なんちょう学級の友だちに話す時は、目を見て口を大きく話さなきゃと思った。

今日はクイズでなんちょう学級のことをよくわかった。ほちょうきは、大事なことがわかった。

なんちょう学級の人たちは、聞くためには、大きくしゃべるだけでなく、口の形もちゃんとやらないといけないことがわかりました。

ほちょうきは、大事な音が聞こえないときがあるからこまるな - と思った。

車、トラックのけいてきが聞こえにくいことがわかった。うしろから来る自転車のベルが聞こえにくかったらたいへんだなあと思いました。

ほちょうきはめたらみんな聞こえると思ったのに、聞こえない(聞きとりにくい)こともあった。

ほちょうきをかけると大きく聞こえるけど、聞こえる人と同じようには聞こえないこと。ほちょうきは大切だけど、こわれやすくて、音が聞きとりにくいこともあるということを知った。

4年2組の友だちの感想...本当の水道の音は大きく聞こえるけどビデオではあまり聞こえなかった。3年の人たちは、時々しゃべりながら(クイズに答えながら)、いっしょけんめい見ていると思う。

先生から・・・3年生と4年生といっしょに勉強してよかったです。3年生の友だちは、とてもいっしょけんめい考えてくれました。家の人にもこの勉強のことをぜひお話しくださいね。ビデオ(きかい)の音はなんちょう学級の友だちには聞きにくい音なんですけど、見て考えていましたね。さすが4年生と思いました。そして、3年1組の担任の先生、いっしょの時間をもっていていただき、ありがとうございました。

12月20日 **4年1組の友達と一緒に勉強したよ!** (抜粋)

先生が話している時にわかりやすいように静かにしていればと思う。今度から注意しよう。

みんながうるさくすると、補聴器にみんな声が入って、その中の一つだけを聞こうとするのは大変。1組はしゃべる時、ちゃんと聞こえやすいようにしたらいいと思う。本当に補聴器は大事な。

難聴学級の2人は、ぼくたちの口や表情を見てどんなことを言っているのかわかるのがすごいなあと思った。補聴器をつけていても聞こえにくい音があると聞いてびっくりした。

人の声が小さかったら聞こえにくいんだなと思ったし、人がわいわいしゃべっていたら誰が何を言っているのかわからないのがわかった。

後ろからだ補聴器をつけていてもトラックの警笛が聞こえにくい。ぼくは、後ろからだとちょっとだけしか聞こえにくくならないと思っていたけど、前からの聞こえとは全然違うとわかった。

難聴学級の友達と話す時は、顔の表情などをはっきりさせないとダメとつくづくわかった。

先生が話をしている時、みんなが静かにしていたら難聴学級の友達は聞こえるだろうけど、みんながうるさくしていたら難聴学級の友達は聞こえにくい。それから、補聴器は本当に大切だと思った。

2人の友達は、ぼくたちの口や表情を見てくれる。これから話しかける時は、わかりやすいようにしよう。補聴器は2人にとって大切だと思った。

水道の水が流れる「じょろじょろ」という音は少し聞こえにくいんだ。二人にとって補聴器は大切なんだ。

音って『小さく聞こえる・・・わかりにくい・・・聞こえにくい・・・時々聞こえる』などいろいろあるんだ。いらない時に大きな声を出すと、2人は必要なことが分からなくなる。

補聴器をはめていたらはっきりわかると思っていたんだけど、今回の勉強で補聴器をかけていても聞こえにくい音があることがわかった。

チャイムとか大きい音なのに、「あんまり聞こえない」時があるんだ。トラックのクラクションも後ろからだ聞こえにくいこともあるから不便だなあと思った。

難聴学級の友達は、ぼくたちよりちょっと聞こえないと思っていたけど、ぼくたちよりたいへんなんだなとわかった。

小さく聞こえる音があるんだ。DちゃんやNちゃんは料理の音やトラックの警笛が聞こえにくいことがわかった。

補聴器で友達の声が聞こえるんだ。でも、補聴器をかけても車の音がちょっと聞こえない時があると聞いてびっくりした。

先生から・・・今回はビデオ視聴の都合もあり、会議室で皆で勉強しました。ビデオを見るだけじゃなく、話を聞く時も静かに勉強できたように思います。一緒に本校に入学して4年目になりますね。毎日そばにいるのが当たり前で、特別に何かを変えてつき合うということはないですね。でも、お互いが自分達で気がつかないうちに大切にしていることがあります。それは**お互いの聞こえ**です。

交流学习の時、自然に目と目を合わせて話し合う姿、給食の時じょうだんを言って大笑いする姿、休み時間に一緒に歩いている姿などなど。

そんな時って**自分達が輝いているって知っていますか?**

勉強した時だけでなく、ふだんもお互いの心が寄り添えばとっても素敵だと思います。難聴学級の友達にだけわかりやすく話すんじゃなくて、どの友達にも・・・。

『一人はみんなのために、みんなは一人のために!』ですね。

5. 理解推進授業・学習指導計画 (資料 = 3年生, 4年生各学級における交流指導)

本校では, 校内における聴覚障害理解のために各学年で理解推進授業(交流指導)を行っています。理論のみに偏ることなく, 子ども達によりわかりやすい授業になるように, 身近な音を取り入れた教材ビデオを活用しました。

- (1) ねらい
- 3年1組・・日常生活の音環境の中でのいろいろな聞こえ方に気づき, 難聴学級の友達のがんばりや聞き取るための工夫を知る。
  - 4年1組・・難聴学級の友達の聞こえ方を理解し, よりよいコミュニケーションの仕方を考える。
  - 4年2組・・自分達の聞こえ方を相手に伝えたり, コミュニケーションを深めるための工夫を考える。

(2) 授業展開

学 習 活 動	指 導 の 視 点(ねらい)	留意点・準備物
<p>1. 本時の学習のねらいを知る。 『聞こえにくさについて知ろう』</p> <p>2. 日常生活のいろいろな音について考える。</p>	<p>自分の生活の中では, どんな音がするだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の声・車の音・足音・工事現場</li> <li>・テレビ・楽器・風・ラジオ・電話</li> <li>・ドアの開閉音・自転車のベルの音</li> </ul> <p><u>自分達は毎日いろいろな音に囲まれて生活していることに気づく。</u></p>	<p>フラッシュカード</p> <p>フラッシュカード 作業プリント</p>
<p>3. 難聴学級の友達はどんなふうに聞こえているのかを考える。</p>	<p>音のビデオを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内の音 人の声, チャイム, 廊下を歩く, 水道の水, ドアの開閉, 給食時間</li> <li>・外の音 車が走る音, トラック警笛, 宣伝カ - の声</li> <li>・家の中の音 米とぎ, 野菜切り(玉ねぎ), ハンパ - グ炒め, オ - プンレンジ, 炊飯器, テレビ(天気予報), インタ - ホン, 電話の音や声</li> </ul> <p>補聴器を外した時は聞こえ方が違うことを知る。 <u>補聴器をつけた時でも視覚を活用しながらいろいろな音をとらえていることを知る。</u></p>	<p><b>音のビデオ</b> <u>いくつかの音は最初音だけを聞く。</u></p> <p><u>難聴学級児童は前もってビデオを視聴して内容を把握しておく。</u></p> <p>フラッシュカード <u>聞こえにくい(聞こえない)ことをマイナスにとらえないように考えさせる。</u></p>
<p>4. 互いにわかり合うためにはどうすればよいかを考える。</p>	<p>どうしたらわかり合えるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を見て話す。</li> <li>・大きく, はっきり, ゆっくりめに話す。</li> </ul>	<p>作業プリント フラッシュカード</p>
<p>5. わかったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を思いやる気持ちをもちあう。</li> </ul>	<p><u>互いに伝え合おう, 分かり合おうという気持ちが大切なことに気づかせる。</u></p>

## 6. 今後の課題

毎日の生活の中で、何気なく自分達の耳に入ってくる音が、難聴学級の友達にとっては、とても大切な聞きたい音であったり、必要不可欠な情報であったりすることに気づいた子ども達があります。今回の学習を通して、今まで以上に交流時のコミュニケーションの大切さを感じた子ども達もたくさんいたように思います。

自分達の身近にあふれる音をビデオを使って学習したことで、難聴学級の友達の聞こえを実感としてとらえられたのではないのでしょうか。

学年の中に難聴学級がないと日常的に接する機会も少ないですが、これを機会に互いに声をかけて交流が深まればよいと思います。

しかし、まだまだ、「聞こえにくくてたいへんだな」という気持ちが強くて、自分との関わりにまでつなげて考えられない子どももいます。「～が聞こえにくいことがわかった。」だけで終わるのではなく、その時に難聴学級の友達はどんなふうに音を取り入れているのか、どんな工夫をすればコミュニケーションが深まるのかを自分なりに考え、自分達それぞれにできることを実践しようとする力をつけていってほしいと思います。

難聴学級の子ども達から、すべての友達にむけて『聞こえにくさ』について発信していくことは難しいけれど、子ども自身の思いを大切にしながら、聴覚障害に対する正しい理解推進を充実させていくように、授業の組み立てや、教材の工夫を考えていきたいです。